

博物館と学校教育との連携III

—『見学の手引き』作成を通して—

青木正邦*

はじめに

平成4年度の改訂によって、「博物館の利用」が学習指導要領に位置付けられるようになり、学校教育における博物館利用の工夫が必要になってきている。また、平成9年11月、教育課程審議会において、「総合的な学習の時間」の創設が提示（『教育課程の基準の改善の基本方針について（中間まとめ）』）された。この総合的な学習は、横断的・総合的な学習を学校の創意工夫を生かして実施することをねらいとしているが、今後、このような総合的な学習の一環として博物館学習が取り入れられることが予想される。

平成8年度の当館入館数は170,285人で、その内、学校教育機関の入館状況は、18,590人（学校団体の数は132校）であった。これまでは、博物館と学校教育との連携を常に念頭に置き、主体的に見学できる補助資料ジュニアワークシートの作成や、博物館の楽しさを各学校に出向いて紹介するジュニアミュージアム講座を実施するなど、学校への積極的な働きかけをおこなってきた。その結果、これらの活動を実施することにより、児童生徒が自ら学ぼうとする力を育てあげていくために非常に有益であることがわかった。しかし、各学校の教師からは、「事前の下見をして博物館と打ち合わせをしたいが来れない」、「事前学習で博物館見学の方法を指導したいが、時間が十分とれない」、「児童生徒にどのような資料を与えればよいのか」等の声が多くよせられている。つまり、多くの教師たちは、児童生徒に、明確な目的意識をもって博物館見学をするようにさせたいという気持ちを持っているのである。また、利用方法として、ポイントを絞った見学や、授業の進度に合わせての見学を考えていることもわかる。そこで、本稿では、このような学校の現状や教師の願いに沿って作った『見学の手引き「たてはくへ行こう」』の作成過程と内容について説明し、これからの博物館と学校との連携の仕方を考えてみたい。

*富山県 [立山博物館]

1. 見学の手引き作成に向けて

博物館教育において、「子どもの感覚がどれだけリアルに働いたか（感性レベル）」そして、「子ども自らにそれを追求する感情が豊かに働いたか（情操レベル）」が大切である。今年度作成した『見学の手引き』は、この感性と情操を育てるための一つの提案として、また、学校教育の援助を目的として作成したものである。そこで、まず、引率者である教師の願いを考慮した内容であり、かつ児童生徒の実態に応じた学習ができるようなものにしたと考え、図1のような『見学の手引き』作成基本構想をたてた。

2. 見学の手引きの内容

2.1 見学の手引き作成までの手順

手引きは、過去3年間の実態調査に基づき、使いやすさと親しみやすさ、それに博物館の広報も兼ねることをねらい、図2の手順で『見学の手引き』を作成した。

2.2 内容の工夫

手引きの内容は、引率者が使いやすく、児童生徒一人一人が楽しく取り組み、理解していくものをめざした。つまり、親しみやすいキャッチコピー、魅力あるデザイン、わかりやすい表現（漢字にはルビ）、コピーがしやすい（シートはすべてモノクロ）、文字の大きさ等、徹底的に細かな点まで配慮した。それぞれのシートの作成で工夫したことは以下のとおりである。

(1)表紙……………図3—①

表紙はカラーとし、手に持ちやすく、見学の時に他の資料も入れて携帯できるよう、差し込み式のファイルタイプにした（持ち歩くことができるように、表紙はマットビニールを使ったコーティング仕上げにした）。また、サイズはA4より少し大きくし、机の上の本棚にたてかけると、少しはみ出るくらい（目立つことをねらう）にした。また、デザインは、引率者（30歳代を基準にした。これは、小中学校で遠足の計画案を作成する引率者の年齢を考えたものである）に親しみがもたれるように、キャラクターを登場させた。

(2)手引きについて……………図3—②

手引きの内容は、「施設紹介」「見学手続き」「見学方法」「ワークシート」「参考資料」の利用目的別の5つの構成にし、使いやすさを求めた。

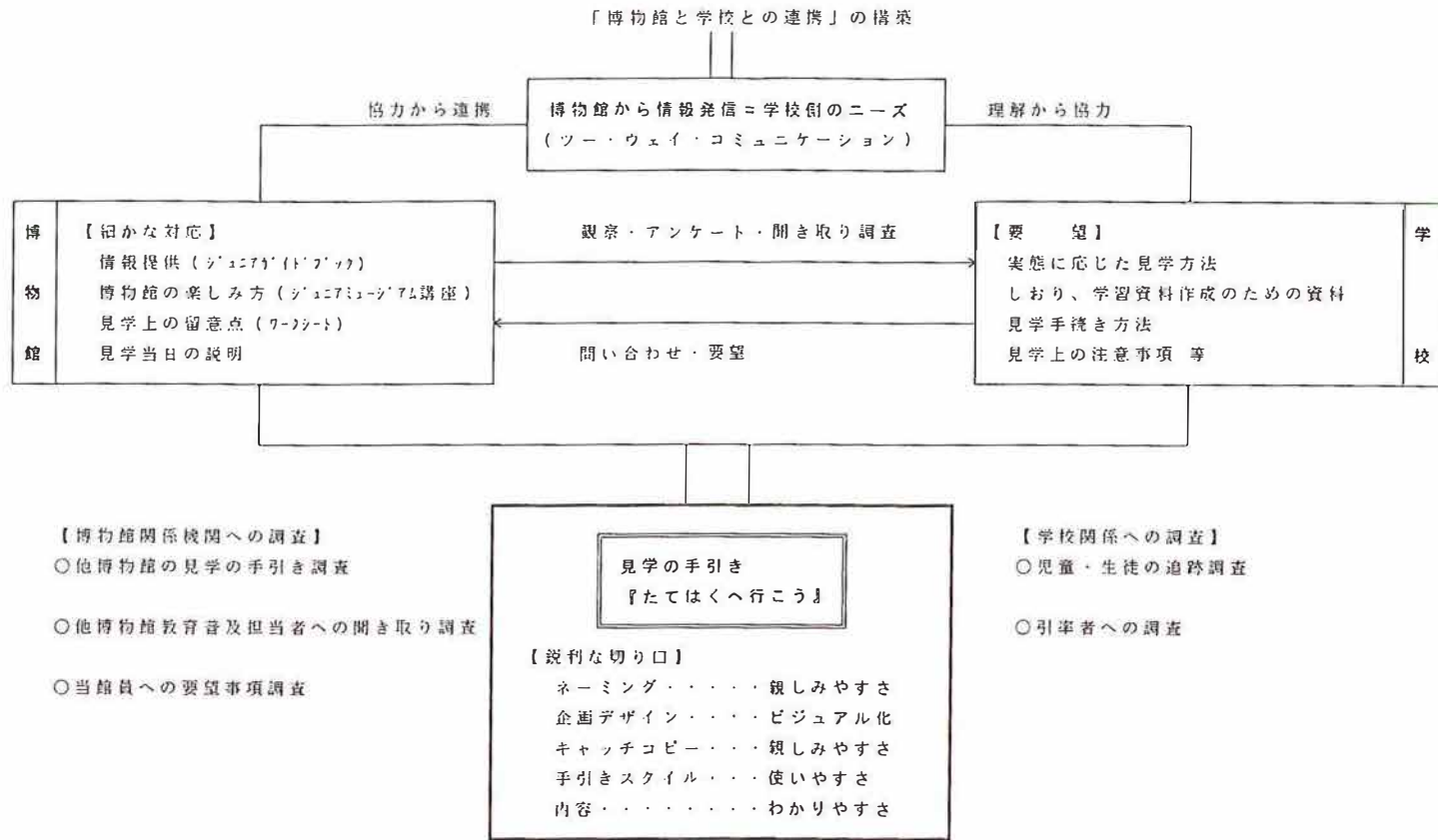


図1 『見学の手引き』作成基本構想

■企画プロポーザル方式を採用

(採用業者(デザイナー)と協議しながら進める方法)

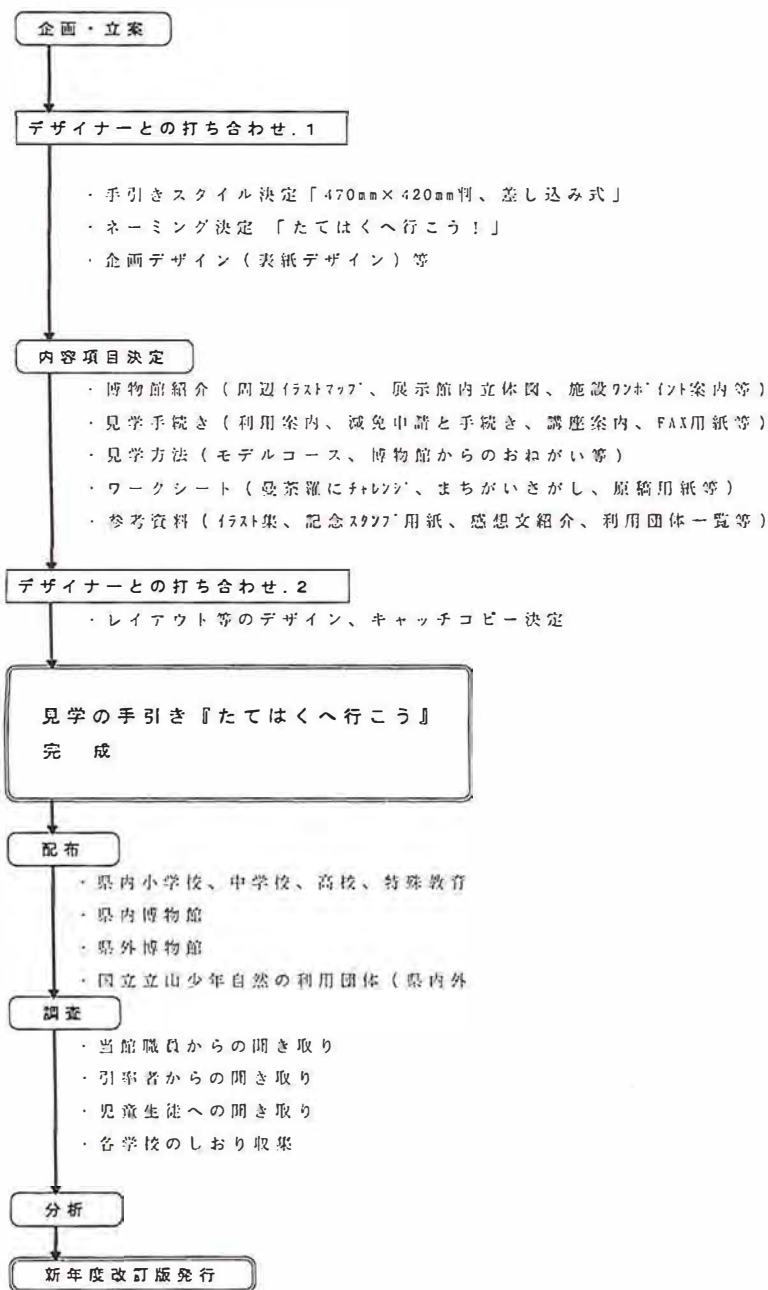


図2 『見学の手引き』作成手順

また、ページ表示は、(例)「7-1」とした。これは、1つの項目に7つのシートがあり、その1枚目であることを示している。また、それぞれのシートが分散しても、もとにもどすことが簡単にできるようにも配慮した。

(3)施設紹介

ア. 立山博物館周辺イラストマップ……………図3-③

各学校で自由に活用できるように、イラストを中心に文字を少なめにし、書き込みがしやすいようにした。また、引率者からの問い合わせが多い、集合場所や見学路、危険箇所、便所等はあらかじめマップに記入した。

イ. 展示館3階 第一展示室, 展示館2階 第二展示室……………図3-④・⑤

引率者が、児童生徒の実態に応じて、見学のポイントを自由に書き込めるようにした。また、児童生徒が見学しやすいように、展示室内を立体図にしたり、小学生が色をぬることができるようにも配慮した。

ウ. 遙望館、まんだら遊苑周辺マップ……………図3-⑥

映像ホールの「遙望館」や野外施設「まんだら遊苑」を拡大したマップである。各学校で集合場所や見学順路、注意事項等を自由に書き込めるようにした。

エ. 施設ワンポイント案内……………図3-⑦

主な施設を、小学生を基準に、ワンポイントの解説をしたものである。また、各学校で作るしおりや学習資料に貼れるように、文字の大きさを配慮した。

オ. 施設インフォメーションPart1、施設インフォメーションPart2……………図3-⑧・⑨

引率者から数多く問い合わせがあったこと(バス駐車場、集合場所、昼食場所、危険箇所)を写真を使って説明した。また、図3-③のマップと連動させ、それに貼ることができるようにした。

(4)見学手続き

ア. 利用案内……………図3-⑩

博物館の開館時間、映像ホール遙望館の上映時間、年間の休館日、特別企画展の内容を載せた。これは、各学校が当館見学の日程をたてることを配慮したものである。

イ. 観覧料(常設展)の免除と手続き, 富山県[立山博物館]観覧料減免申請書……………図3-⑪・⑫

県内の学校の観覧料減免の手続きの方法と、減免申請書の記入の仕方を分かりやすく書いた。これは、申し込む時の記入のわずらわしさをなくすことと、当館側の見学予定校の調整をすることを配慮して作成したものである。

ウ. 常設展示視覧の手引きとジュニアミュージアム講座………図3-⑬

当館を視覧する県内の学校に、無料で配布している「常設展示視覧の手引き（ジュニアガイドブック）」と、博物館の楽しさを教える「ジュニアミュージアム講座」の流れを詳しく紹介した。これは、「常設展示視覧の手引き」と「ジュニアミュージアム講座」の利用の増加をねらって作成したものである。

エ. FAX質問用紙………図3-⑭

以前、東京ディズニーランドへ運営時間等の問い合わせをした。その時に、郵送されてきた送付状には、「お問い合わせいただき、誠にありがとうございました。」と書いてあった。そこには、オリエンタルランド社（東京ディズニーランドの経営主体）のお客に対する姿勢を伺うことができた。当館にも、引率者から見学に際しての問い合わせの電話が多くかかってくる。しかし、電話に出ることができない場合や、その場ですぐに答えることができないこともある。そこで、このオリエンタルランド社のような姿勢をヒントに、下見にこなくても問い合わせが気軽にでき、しかも問い合わせに対して詳しく返事ができるようなものと考え「FAX用紙」を作成した。また、FAXが気軽にできるよう、用紙にはキャラクターをワンポイント入れた。

(5)見学方法

ア. 2時間以内モデルコース, 3～5時間以内モデルコース, 自然の家利用コース………図3-⑮・⑯・⑰

当館の各施設が地域に分散しているので、見学の計画を立てる場合、施設の回り方や移動時間、見学時間の目安が必要になってくる。そこで、所要時間別に見学モデルコース例を作成した。

イ. 博物館からのおねがい………図3-⑱

引率者が、児童生徒に「入館前と入館後にどのような指導を行えばよいか。」また、児童生徒たちは、「どのような事を守らなければいけないのか」を載せたものである。その中でも「児童・生徒へのおねがい」は、学校で作成するしおりにすぐに使用できるように、イラストと組み合わせて作成した。

(6)ワークシート

ア. 曼荼羅にチャレンジ………図3-⑲

楽しく問題にチャレンジしていくうちに、立山曼荼羅の内容がわかっていくように配慮したワークシート（上の立山曼荼羅の絵Aと下の絵Bを見比べ、下の絵にたりないものを探し出す問題である。立山曼荼羅は5つの内容が描かれているが、それぞれの内容ごとに1カ所ずつたりない所を作った）である。これは、人気テレビ番組「マ

ジカル頭脳パワー」(日本テレビ制作)の中の「エラーを探せ」をヒントに作成したものである。

イ. 布橋灌頂会まちがいさがし……………図3—㉔

アと同じく「マジカル頭脳パワー」をヒントにしたものである。内容は、立山信仰に出てくる儀式「布橋灌頂会」の様子をアニメ調で表した問題(「正解の絵」と「まちがいの絵」を比較して、間違いを5カ所見つける。もう一つは、難問で、「正解の絵」の8つの部分を拡大したもので、その中から間違っている所を5カ所発見する)である。つまり、楽しく布橋灌頂会の儀式が理解できるよう配慮した。

ウ. 立山の自然にビンゴ(展示館用)、立山の歴史にビンゴ(展示館用)……………図3—㉕・㉖

展示物を見学しながら問題を解いていく、書き込み方式にした。また、見学後ビンゴゲームをやりながら、答え合わせをする方法にした(この方法をとることにより、真剣に見学するようになると考えた)。

エ. 1階ビデオブースにチャレンジ(展示館用)……………図3—㉗

展示館の1階にはビデオブースが3台ある。その使い方と番組名を紹介すると同時に、特に児童生徒に見てもらいたいアニメ番組(「立山物語」、「立山と白山の背くらべ」)についての「聞き取りゲーム」的な問題を作成した。

オ. 遙望館から見える立山連峰の山々(遙望館用)……………図3—㉘

映像ホール遙望館は、展示館から歩いて5分のところにある。映像は、大型スクリーンで「立山の歴史」と「立山の自然」を紹介している。映像が終わるとスクリーンが上に跳ねあがり、そこからは、立山連峰の山々が真正面に見える演出になっている。この場所からみえる立山の山々の名前と由来を、ワンポイントで説明したものである(県内でも、意外に立山の山々の名前を知らない人が多い)。

カ. まんだら遊苑体験ツアー……………図3—㉙

まんだら遊苑は、野外を中心に立山信仰にある地獄と極楽を、音や香り、造形物等で体験する施設である。感性でとらえなければいけない面もあるので、児童生徒にはやや難しい。そこで、体験するポイントを示したり、自由に感想を書くことができるように配慮した。

キ. 展示物から探せ……………図3—㉚

当館の各施設の総合シートになっている。児童生徒たちに人気のある「ウォーリーを探せ」(フレーベル館)をヒントにしたものである。内容は、立山博物館の展示物や博物館から見える山々の名前がたくさんあげられている。そして、問題に答えるには、

展示物をしっかり見て回らなければわからないようになっている。

ク. たてはく原稿用紙……………図3—⑳

各学校で、見学の感想や学習用として使ってもらうことを考えて作成した。用紙にはキャラクターを使用し、興味をもたせるように工夫した。また、小学生高学年以上の児童生徒が使用できるように、原稿のマス目の大きさにも配慮した。

(7)参考資料

ア. たてはくイラスト集Ⅰ,たてはくイラスト集Ⅱ……………図3—㉔・㉕

各学校で、しおりや見学の学習資料等を作成するときに、使いやすいうように、施設のイラストやキャラクターなどを入れた。また、このイラストが、保護者向けのしおり等で使われることにより、各家庭へのPR効果もあると考え作成した。

イ. 記念スタンプを押してみよう……………図3—㉚

児童生徒たちが、日頃いろんな観光地や施設等でスタンプを押す姿をヒントに作成した。当館にも、各施設にスタンプがあるので、見学の記念にしおり等に押せるよう考えた。

ウ. 感想文……………図3—㉛

学校での事前学習の時に、児童生徒に説明する資料として活用できるように配慮した。

エ. 平成8年度利用団体一覧……………図3—㉜

今後利用する学校へのPR効果を期待するとともに、見学した団体への次年度利用の働きかけを考えて作成した。

3. 見学の手引きの実際

3.1 見学の手引き使用調査

見学の手引きが完成したのが9月に入ってから（当初は、各学校が秋の行事を検討する前の8月中旬を予定していた）ということで、秋の遠足等で博物館の見学実施の効果を高めるには時期がやや遅かった。また、調査するにも対象校(19校)¹⁾が少ない状態であった。しかし、来年度へ向けての学校機関への働きを考えるうえで、以下の調査を実施した。

『見学の手引き』の利用状況調査（引率者への聞き取り）

ア. 見学の手引きを知っていましたか。

・知っていた(95%) ・知らなかった(5%)

イ. 手引きを見てどのような印象をもちましたか。

- ・表紙が面白い(74%)
- ・スタイルが変わっている(63%)
- ・使いやすそう(58%)

ウ. どのように利用しましたか。

- ・しおり、学習資料(70%)
- ・引率者の事前打合せ資料(75%)
- ・その他(10%)

エ. 引率者シート持参状況(26%)

オ. シート別利用率(事前打ち合わせ、学習資料への使用): 表1

カ. しおり、学習資料への利用事例: 写真1~4

3.2 考察

手引きは、県内の各学校に1冊ずつしか配布しなかったが、ほとんどの引率者は見学の手引きを知っていた。これは、聞き取り調査からもわかるように、表紙が目立ったのと、今までにない手引きのデザイン、スタイルであったことが影響しているようである。

また、今回の調査で、しおりや学習資料として利用率が高かったシートは「立山博物館周辺イラストマップ」、「施設ワンポイント紹介」、「曼荼羅にチャレンジ」、「布橋灌頂会まちがいさがし」、「展示物から探せ」であった。また、引率者の事前打ち合わせ資料では、「立山博物館周辺イラストマップ」、「施設インフォメーション1、2」、「観覧料の免除と手続き」、「モデルコース」、「利用案内」の利用率が高かった。つまり、学習資料では、児童生徒たちが興味を示すクイズ的なシートが、引率者の事前打ち合わせでは、施設とモデルコース案がよく使われていたといえる。このことから、当館のねらいの一つであった学校を援助するという役割を果たしたことになる。

しかし、「展示館3、2階展示室立体図」、「立山の自然・歴史ビンゴ」、「一階ビデオブースにチャレンジ」、「記念スタンプをおしてみよう」、「たてはくイラスト集」等はあまり使用されていなかった。これは、見学時間が長くなる、内容がやや難解である等が原因であると推察される。

今年度は、データ資料が少なく、細かな分析ができなかったので、来年度は、4月当初から小・中・高校別に調査を実施し、使用度の少ないシートの見直しを行っていきたい。そして、より多くの学校で使われる「見学の手引き」にしていきたい。

4. おわりに

博物館と学校教育との連携を、一昨年はジュニアワークシートの作成、昨年はジュニアミュージアム講座の実施、今年度はこれまでのまとめとして『見学の手引き』を作成

表1 シート別利用率 (事前打ち合わせ、学習資料への使用)

| 内容項目 | シート項目 (利用率) | |
|--------|------------------------|------|
| 施設紹介 | 立山博物館周辺イラストマップ | 8.4% |
| | 展示館3階 第一展示室 立山信仰の舞台 | 5% |
| | 展示館2階 第2展示室 立山信仰の世界 | 5% |
| | 遙望館、まんだら遊苑周辺マップ | 2.6% |
| | 施設ワンポイント案内 | 8.4% |
| | 施設インフォメーションPart1 | 6.3% |
| | 施設インフォメーションPart2 | 6.3% |
| 見学手続き | 利用案内 | 6.8% |
| | 観覧料 (常設展) の免除と手続き | 9.5% |
| | 富山県 [立山博物館] 観覧料減免申請書 | 9.5% |
| | 常設展示観覧の手引きとシミュレーション講座 | 3.2% |
| | FAX質問用紙 | 2.1% |
| 見学方法 | 2時間以内モデルコース | 5.3% |
| | 3～5時間以内モデルコース | 5.3% |
| | 自然の家利用コース | 6.3% |
| | 博物館からのお願い | 8.4% |
| ワークシート | 曼荼羅にチャレンジ | 7.4% |
| | 布橋灌頂会まちがいさがし | 7.9% |
| | 立山の自然にビンゴ (展示館用) | 1.1% |
| | 立山の歴史にビンゴ (展示館用) | 1.1% |
| | 1階ビデオブースにチャレンジ (展示館用) | 0% |
| | 遙望館から見える立山連峰の山々 (遙望館用) | 4.7% |
| | まんだら遊苑体験ツアー | 0% |
| | 展示物から探せ | 7.4% |
| | たてはく原稿用紙 | 4.7% |
| 参考資料 | たてはくイラスト集Ⅰ | 3.2% |
| | たてはくイラスト集Ⅱ | 2.6% |
| | 記念スタンプを押してみよう | 0% |
| | 感想文 | 3.6% |
| | 平成8年度利用団体一覧 | 0% |

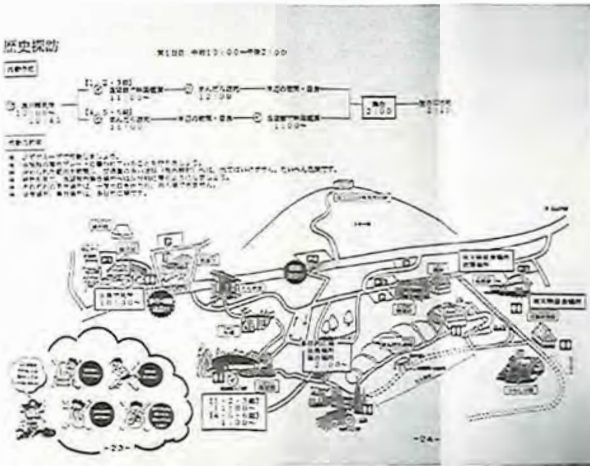


写真1 「立山博物館周辺イラストマップ」と「利用案内」のシートを組み合わせた学習資料

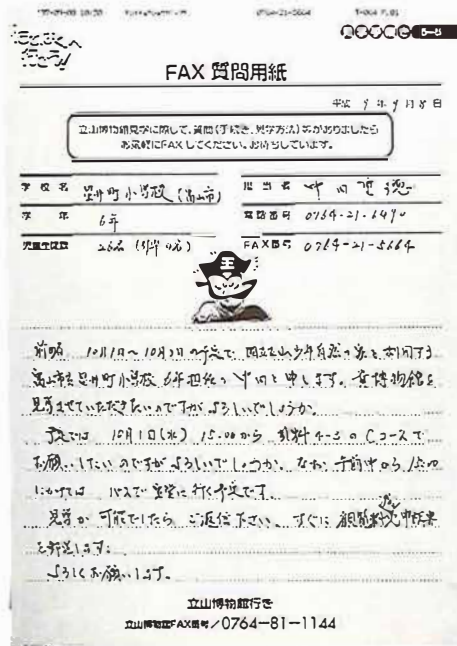


写真2 引率者から送られてきた「FAX質問用紙」



写真3 「たてはく原稿用紙」を利用して書かれた感想文

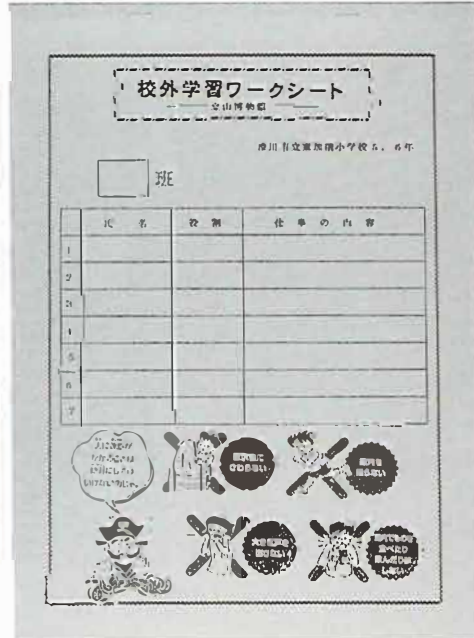


写真4 当館の手引きをもとに作成された学校独自のワークシートの表紙

した。この手引きは、今までにはない内容構成やスタイルになっていたためか、各学校に対してとてもアピールが高かった。つまり、博物館が学校教育との連携に力を入れていることを学校側に伝えることができたのである。また、見学した学校の中には、立山の歴史を体験的に学ぶ活動として、この手引きを参考に学習資料を作成し、児童生徒が主体的に見学できるよう工夫したところもあった。このような学校の児童生徒は、見学中の「つぶやき」、「友だちとの会話」「笑顔」が多かった。

昨今、児童生徒を取り巻く教育環境が大幅に変化する中で、学校・家庭・地域社会の連携による教育力の向上や、体験型の学習機会の充実が求められてきている。その中で博物館は、学校教育活動の一環として、児童生徒の学習や体験活動の場として積極的に活用されることが期待されている。これらの状況を受けて、教師を対象とした博物館の利用促進のための研修・研究会の開催や、適切かつ効率的に利用するための学習教材の開発、学校への出張講座や移動展示などの活動を通して、博物館と学校との連携をさらに進めていく必要があると考えている。

註

- 1) 平成9年度の学校機関の当館利用数は123校であり、その中で、今回の「見学の手引き」配布後（9月11、12日）に申し込みがあったのが19校であった。

富山県 [立山博物館] 観覧料減免申請書

平成 年 月 日

〒 市 区 町 丁目 番 号

姓 名 (姓) _____ (名) _____

性別 _____

年齢 _____

学年 _____

住所 _____

電話番号 _____

この申請書は、申請者の年齢が18歳未満であることを証明するものです。

| 観覧日時 | 学年 | 年 | 月 | 日 | 期 | 分 | 時 | 分 | 時 | 分 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 立山博物館 観覧料 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 | 第 一 期 |

観覧料目録

発行所 富山県立立山博物館

4の欄に記入してください。

図 3-12

富山県 [立山博物館] 常設展示観覧の手引きとジュニアミュージアム講座

常設展示観覧の手引き (ジュニアガイドブック) の利用

日時 09:30 ~ 16:00
対象 小学生以上、中学生、高校生
内容 展示館に併設して、観覧料無料で利用できる。立山博物館の常設展示の魅力を最大限に引き出す。観覧料に含めず、別途予約が必要。観覧料として別途予約が必要。観覧料に含めず、別途予約が必要。

ジュニアミュージアム講座について

講座について
立山博物館で小学生を対象とした、楽しく学べる講座です。立山博物館の常設展示の魅力を最大限に引き出す。観覧料に含めず、別途予約が必要。観覧料として別途予約が必要。

ジュニアミュージアム講座当日の流れ (学習の流れ)

学習の流れ

1. 入館 (9:30) → 2. 入館説明 (10:00) → 3. 入館料 (10:30) → 4. 入館料 (11:00) → 5. 入館料 (11:30) → 6. 入館料 (12:00) → 7. 入館料 (12:30) → 8. 入館料 (13:00) → 9. 入館料 (13:30) → 10. 入館料 (14:00) → 11. 入館料 (14:30) → 12. 入館料 (15:00) → 13. 入館料 (15:30) → 14. 入館料 (16:00)

お問い合わせ先
立山博物館 常設展示課 電話 0764-81-1144 FAX 0764-81-1144

図 3-13

富山県 [立山博物館] FAX 質問用紙

平成 年 月 日

立山博物館見学に際して、はてしなく、見学の方針がわかりましたら、お気軽にFAXしてください。お待ちしております。

姓 名 _____ 担当 者 _____

学 年 _____ 電話 番号 _____

所属 学校 _____ FAX 番号 _____

立山博物館行き
立山博物館FAX番号 / 0764-81-1144

図 3-14

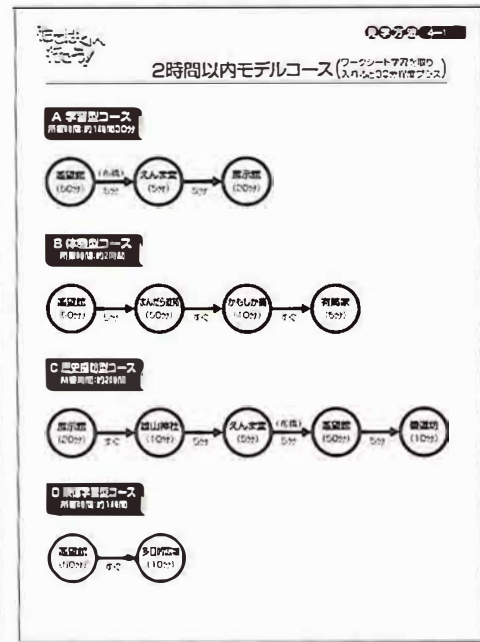


図 3-15

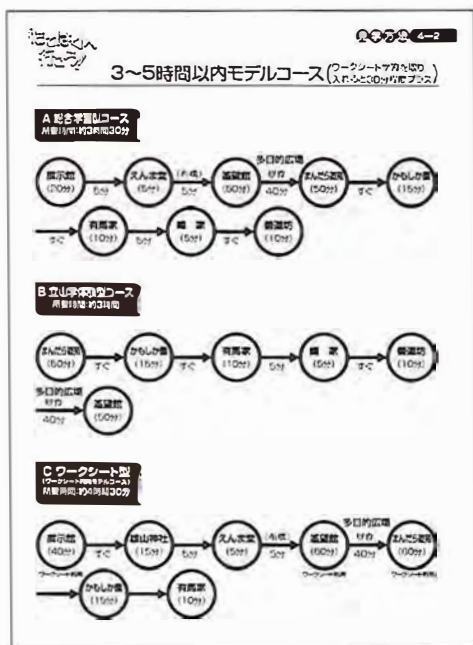


図 3-16

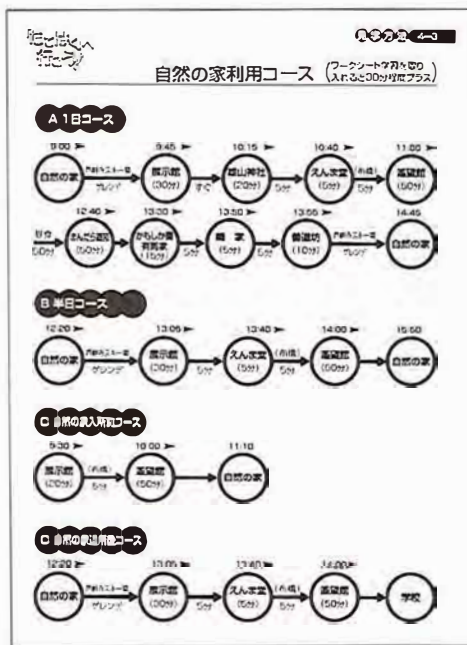


図 3-17

博物館からのおねがい

事前の準備
 展示の順序、見学の順序、見学の時間、見学の場所について、事前におねがいをいただくことが重要です。そこで、おねがいをしただけで、おねがいをしただけです。

見学にあたっての注意点

- ◆入館前
 - 服装は、清潔で、動きやすい服装にしてください。
 - 靴は、履きやすい靴にしてください。
 - 見学の際は、おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。
 - 見学の際は、おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。
- ◆入館後
 - おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。
 - おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。
 - おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。
 - おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。
- ◆児童・生徒へのおねがい
 - おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。おねがいをしただけです。

図 3-18

蔓茶屋にチャレンジ

A 立山蔓茶屋
 立山蔓茶屋は、立山神社の境内にあり、立山神社の歴史や文化を学ぶことができます。

- 立山神社境内
- 立山神社
- 立山神社
- 立山神社
- 立山神社

B

蔓茶屋は、立山神社の境内にあり、立山神社の歴史や文化を学ぶことができます。

蔓茶屋は、立山神社の境内にあり、立山神社の歴史や文化を学ぶことができます。

図 3-19

クイズシート 0-2

布橋遊頂会まちがいがかし

(答えを併せよう)

図 3—20

クイズシート 0-3

立山の自然にビンゴ (展示館用)

第1 展示室 (3階) プナの壁へ

● 自然の事柄を1つずつ記入する。ビンゴカードの枠に記入する。

● 自然の事柄から事件や出来事を選んでみる。ビンゴカードの枠に「ナ」で記入する。

● プナの森の動物を探す。今動物の写真を観てみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 立山の自然の事柄から1つ選んで() にビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 1つずつ自然の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 自然の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 自然の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 自然の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 自然の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

図 3—21

クイズシート 0-4

立山の歴史にビンゴ (展示館用)

第2 展示室 (2階) 立山遊脚の世界へ

● 歴史の事柄を1つずつ記入する。ビンゴカードの枠に記入する。

● 歴史の事柄から事件や出来事を選んでみる。ビンゴカードの枠に「ナ」で記入する。

● 立山の歴史の事柄から1つ選んで() にビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 1つずつ歴史の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 歴史の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 歴史の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 歴史の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 歴史の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

● 歴史の事柄から動物の名を選んでみる。ビンゴカードの枠に動物の名で1つずつ記入する。

図 3—22

クイズシート 0-5

1階ビデオブースにチャレンジ (展示館用)

見てみたい番組名を箱で囲んで下さい。

| | |
|-------------|-----------|
| 1 アニメ 立山の歴史 | 6 動物の歴史 |
| 2 アニメ 立山遊脚 | 7 立山遊脚の歴史 |
| 3 アニメ 立山遊脚 | 8 立山遊脚の歴史 |
| 4 アニメ 立山遊脚 | 9 立山遊脚の歴史 |

次のアニメ番組をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

● 立山遊脚の歴史をよく見て考えるのじゃ!

図 3—23

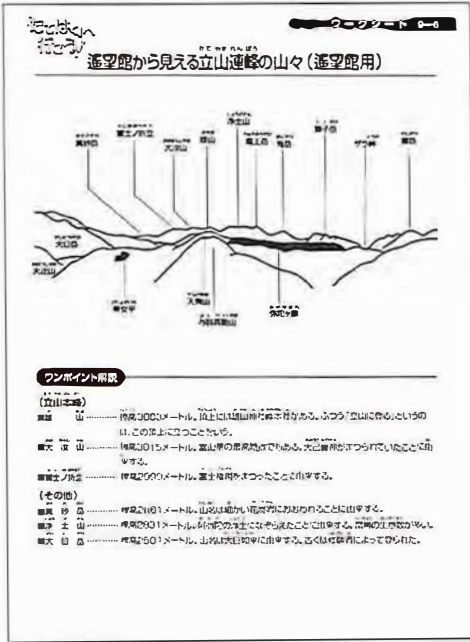


図 3 — 24

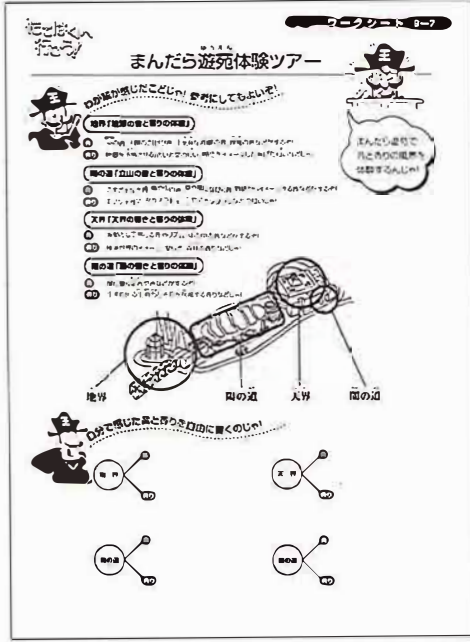


図 3 — 25

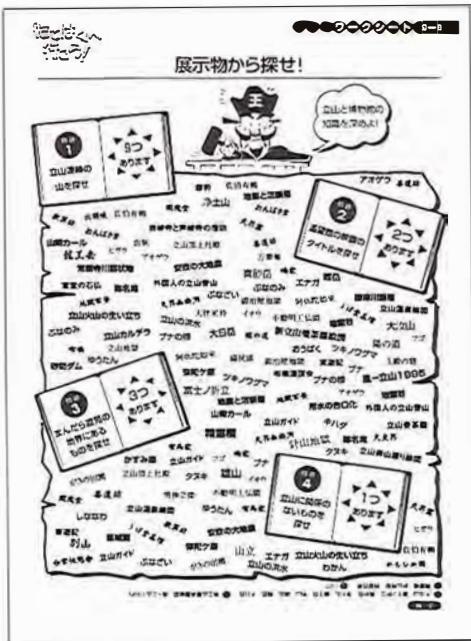


図 3 — 26

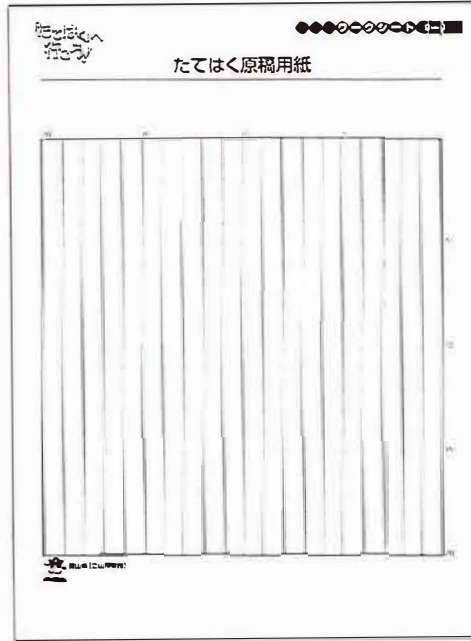


図 3 — 27

